

# 創造芳泉



平成28年12月16日  
岡山市立芳泉小学校・ひばり分校  
<http://www.city-okayama.ed.jp/^hosens>  
<http://www.city-okayama.ed.jp/^hibarisi>

## 学校像：「いきいき わくわく 楽しい学校」

### よき年末・年始を そして輝く新年を！

2学期もあと1週間となりました。今年の漢字「金」が表すように、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでの選手の活躍に勇気をもった平成28年も暮れようとしています。

雪のたよりも間近な12月まで、数多くの学習やさまざまな行事を経験して、学年初めより確実に身体も心も大きくなってきた子どもたち各自の頑張りに対して「金メダル」をあげたいと思います。

26日から始まる冬休みも、家族の一員としての役割をもち積極的に家庭の仕事やお手伝いに取り組み、責任を果たす習慣をつけてほしいと思います。学習にもめあてをもって取り組み、規則正しい生活を送ってください。

本年も保護者・地域の皆様には大変お世話になりました。ご家族お揃いでよいお正月をお迎えください。そして、来年もよろしくお願ひいたします。

### 校内人権週間12/5～12/9

校内人権週間初日の放送朝礼で、校長が、「世界人権宣言」の条文を基にして、人権とは、【HUMAN RIGHTS=人として当たり前】だが、**あなたの当り前は、みんなの当り前であるかどうか**という問いかけをしました。「わたしたちは、生まれながらにして**自由**です。ひとりひとりがえのない人間であり、その値打ちも同じです。(第1条)」と「わたしたちはみな、すべての人の自由と権利を守り、住み良い世の中を作るための**義務**…(第29条)」を提示して、**権利をもつことは身勝手とは違うこと**を話しました。日々の行動を振り返り、今後の生活に生かしてほしいです。

芳泉小学校に通う芳泉っ子の全員が「いきいき わくわく 楽しい学校」になるように、一人ひとりが友だちを大切に思い、友だちの心の痛みや辛い思いが分かり合える子どもになってほしいと願います。

人権教育は、現在の生活を見つめ直し、友だちも自分も大切にする教育です。学校では、この機会をとらえて、今週の目標を「ふわふわ言葉で話そう」に決めました。お互いのよさを認め合う取り組みや活動を二つ紹介します。

### ひまわりのたねまき



「たねまき」とは、「心を育てる」学級経営の一環として、特別支援学級の担任が交流学級の子どもたちに、「いつ、どんな人と接することがあっても、『そういう人もいるなあ。自分とは違うけれどいいところがいっぱいだなあ。』と受け止められる可能性の種」を蒔きます。心が柔らかい小学生の時期に「みんな違って当たり前」「人は互いに助け合い支え合う存在である。」という感覚を身に付け、世の中にはいろいろな特性をもつ人がいることを知り、受け止め、関わり方を考える経験が大切であると考えられる機会を作る時間です。排除や偏見なく接することの快適さを知ってほしいと願います。



無言清掃 心を磨く



人権パスポート前文  
本旅券の所持人は地球の市民であり、世界人権宣言に署名した者である。本旅券を所持する地球市民は、人権、肌の色、信条、宗教、性別、民族的出自、性的指向、障害の有無、年齢などにかかわらず、すべての人に人権があることを確信する。本旅券の所持人は、いかなるときも、自分自身の権利のためだけでなく、あらゆる人びとの権利のため、国境を越えた連帯のもとに立ち上がることを誓う。  
アムネスティ



### たてわり集会(集会委員会)



人権週間をはさんで、「異学年同士の交流を行うことで、よりよい人間関係を作る」というねらいで、5年・6年の各クラスの集会委員会が企画・進行を行い、昼休み時間を使って室内遊びを楽しみました。各学年のA組同士・B組同士・・・G組同士の交流が図れるように、分校は2年・3年・5年で、本校はひまわり・1年・4年・6年で活動しました。行ったのは、ながなわ、だるまさんがころんだ、じゃんけん列車、はじめはだれだ、けいどろ、ドッジボール、しっぽとり、ジェスチャーゲーム、ころがしドッジ、かちぬきじゃんけん等です。みんなで遊んだ昔のことを思い出される方も多いと思います。

本校縦割りのけいどろでは、6年生は早歩き、4年生はスキップ、1年生は走ってというルールを聞いて、1年生は上下に飛び跳ねて喜んで参加しました。6年生は、競歩のごとく真剣な早歩きです。分校の縦割り集会後には、「初めて5年生と遊んでとっても楽しかった。」「みんなでしておもしろかった。」と出会いを喜ぶ感想が多くありました。

集会委員が主体的に運営した縦割り集会は、大人が見るとあいまいさやつたなさを感じますが、子どもは子どもの世界で柔軟に受け入れ、心から異学年で遊ぶことを楽しんでいました。子ども同士で遊ぶ経験を積むことは、子どもたちで問題解決することを学ぶことにつながります。「今度いつするの?」と意欲的な気持ちが自然に生まれました。



じゃんけん列車



だるまさんがころんだ



けいどろ

### PTA文化部主催 ミニコンサート 梅里弦楽合奏団と仲間達 12/6



フルト・第1バ・イリュ・第2バ・イリュ・ビ・バ・フルト・フゴ

PTAの方々と4年生・5年生は、フゴットとフルトによる「アルの女からメソッド」、弦楽合奏「ア・イ・ク・イ・ナ・ト・ム・グ・ク」「リ・バ・ル・タ・コ」全員での「魔女の宅急便」等となり、トモドレ等々を鑑賞しました。木管楽器を音楽で学習した直後の4年生は、「本物の楽器を見るのは初めてでした。生演奏は迫力がありました。」「楽器の説明が分かりやすかった。」「大好きなトモレをテレビで見るような気がしました。」など感動しました。この機会を与えてくださったPTA文化部さんに感謝します。

### 認知症ってなあに? 認知症サポーター小学生養成講座 12/7

南区南地域包括支援センターの3名の方が、4年生に認知症についての出前講座をしてくださいました。子どもたちは、認知症にはどうしてなるかを知り、温かい目で見守り、自分にできる応援を考えていこうと素直に感じました。

認知症になり、失敗ばかりが続いておこられてばかり

「大丈夫だよ」とわかってあげる。「いっしょにしようか」と声をかける。ゆっくり待ってあげる。

